

■■ 論文誌のオンライン出版について ■■

平成 20 年 4 月から論文誌（ジャーナルおよびトランザクション）は、冊子を廃止して電子図書館の掲載のみとなりました。電子図書館のご利用には BookPark 上でユーザ登録（無料）が必要です。詳細は次をご参照ください。

■論文誌のオンライン出版（印刷物の廃止）について：事務手続きのご案内

http://www.ipsj.or.jp/03somu/kinen_jigyo/50anv/d-library/dl-ronbun-200710kaikoku.html

■論文誌等の完全オンライン化の意義

会誌 Vol.48, No.12 巻頭掲載

■電子図書館の利用方法

http://www.ipsj.or.jp/05system/digital_library/index.html



～*～*～ 会員サービスのご案内 ～*～*～

会員の皆様の特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門（E-mail:mem@ipsj.or.jp）までお寄せください。

ホテル（10～53%割引）

サンルートホテル、ホテル法華クラブ、JR ホテルグループ、東急ホテルズ、プリンスホテル、
阪急阪神第一ホテルグループ、JR 東日本ホテルチェーン、グランビスタホテル&リゾート、都ホテルズ & リゾート、
ホテル京急グループ、ダイワロイヤルホテルズ、FUJIYAMA 倶楽部、ウィクリーマンション東京

レンタカー（10～51%割引）

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、マツダレンタカー

パック旅行（3～7%割引）

日本旅行、近畿日本ツーリスト、トップツアー、京王観光、ジャルパックサービス、エンターティメントエクスプレス

その他（書籍・コンピュータソフト割引販売、レンタルオフィス）

UC 丸善アカデミックカード、バーシティウェーブ（教育機関所属の方はアカデミック価格で）、デスカット



社団法人

情報処理学会

情報処理

1

特集 ロボットメディアによる
人間情報処理研究

会誌「情報処理」は カタログ同封サービスを 始めました

カタログ同封
サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社 / 貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。

通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

①封入希望月の前月 15 日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。

- ◆会社名、担当者、連絡先
- ◆封入希望号
- ◆サイズ
- ◆カタログの簡単な内容説明
- ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。

②納品先と納品日をお知らせしますので、期限までに必要枚数を印刷し、指定の場所へ納品してください。

③カタログコピーを 1 部学会にお送りください（PDF、FAX 可）。

④カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。

⑤後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1 通あたり
約14.1 円!

※価格はすべて税込

基本価格 367,500 円

対象：全会員 26,000 通 配布

（正会員 / 名誉会員 / 準会員 / 学生会員）

大学や
共催事業は
さらに割引も！

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員
（基本価格の 40% Off !） 220,500 円

情報処理学会主催・共催事業*
（基本価格の 80% Off !） 73,500 円

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4 判または A3 判二つ折り（その他についてはご相談ください）

用紙：色上質厚口（四六判 80kg）またはコート紙（四六判 90kg）相当

問合せ先

【広告代理店】（株）精機通信社 E-mail: sei@ss-com.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

（社）情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「要求工学」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■特集は大変参考になった。顧客の満足できる質の高い効率的なシステム開発方法は、システム開発企業でノウハウをためていると思うが、工学として一般化・理論化し、社会全体として質の高い効率的なシステム開発が行われるようになることは重要であろう。(匿名希望)

■要求工学について、学術的すぎて現場での使い方が分からないものと、すでに問題を認識しており試行錯誤しているがよい解が見つからないものと、記事の内容が両極端に分かれていると感じました。(匿名希望)

■山本修一郎先生の記事で、従来技術との比較が参考になりました。また、全体的に実製品や実サービスで要求工学を取り入れた事例について、詳しい記事があるとよいと思います。(匿名希望)

■「1. 要求工学の現状と課題」の引用数の多い論文のマップは、要求工学を理解する上での参考になります。マップを参照して、要求工学に関する理解を深めたいと思いました。(匿名希望)

■要求工学は実利用の観点から非常に興味がある分野である。人間系と情報系の接点を対象にするという観点から、どのように扱っているかに期待していた。この点をもっと広い観点から記述してほしかった。(匿名希望)

小特集「情報処理で社会を守る」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■「5. 列車の運行から改札までの鉄道システムの事例」は、鉄道には大変興味を持っているので、大変参考になりました。(水野光朗)

■いい企画であると思いました。情報システムの安全と信頼をさらに高めるための技術の発展や法律・制度の確立も重要

なことですが、情報社会を構成する人間のモラルの問題も大きいことを、最近起きている事故や事件などからも実感します。(匿名希望)

■日本学術会議での講演を拝聴していたため、理解しやすかった。このような内容は当日のフロアとのやりとりについても可能な範囲で了解を得て掲載していただくと、読者にとって有益ではないかと思われます。(匿名希望)

■このような特集ではなく、毎号1つのシステムを紹介する連載形式の方が良かったと思いました。(匿名希望)

■近年、情報システムは社会に多大な利便性を与えている反面、大きな被害や損害を与える事故が起きています。これらへの対応としては技術面の対応が基本ですが、一方利用者側も利用しているシステムが起こしている事故や危険性についてもある程度の知識や理解を持つ必要があります。そのような観点で本企画は良かったと思います。(坂東幸一)

■ディペンダビリティに関する小特集を興味深く読んだ。大学では新しい技術の開発が進んでいるが、実社会にこそ興味深いアプリケーション、問題が多くあり、今後この分野が発展し続けるには産学の連携が重要だと考えられる。(匿名希望)

■全体的にシステムの概要紹介みたいになってしまい、「社会を守るインフラ」という面からの掘り下げが足りなかった。その中で岡田氏の記事は、あまり出たくない事故事例を公表するなど、好感が持てた。(匿名希望)

■「2. 東証次世代システムの取り組みについて」は、普段あまりなじみのない分野なので現状システムの説明などは参考になったが、次世代システムの設計や構築状況は基本的には普通だという感想を持った。もう少し具体的な事例をもとにした現状説明やその対策機能の設計、もしくは今後の要件定義への導入など、生きた情報が入ると良いと感じた。(斉藤匡人)

解説「先端芸術音楽創作の研究コンソーシアム「音塾」の構想」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■「音塾」の構想には非常に興味を持っています。情報技術にはシーズの側面とニーズの側面とがありますが、電子音楽にもその両方の側面があると思います。これら両側面の価値観のある世界での「先端」音楽がどんな様相を呈するかに非常に興味を感じています。(木村高久)

■音塾構想に興味を持った。作曲家と情報技術としての音楽研究が乖離していると思っていたのでぜひこの構想が実現されることを願っている。(匿名希望)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■解説「BD-ROMの技術概要」について：記事を大変興味深く拝読させていただきました。ブルーレイディスクは最近是一般新聞などでも取り上げられている用語ですが、それが何者であるのかまったく理解しておりませんでした。今回の解説を読んで概要が理解できました。（匿名希望）

■解説「大学間コラボレーション支援システム—SCSの10年とこれから—」について：ニーズとして過渡期を超えたSCSを、今後のコラボレーションに活かすためにも総括的にコラボレーションシステムをまとめたこの記事は、大変有用であった。（匿名希望）

■解説「特許工学：特許ライフサイクルに情報学を適用した新しい研究領域」について：全体的に新鮮な話で面白い。特に、特許明細書作成支援ツールの1つであるPatentGeneratorが興味深い。今後も含めて、実際にどのレベルまで自動化できるのか興味がある。（斉藤匡人）

■コラム「研究会千夜一夜『システム性能評価とシステム評価』」について：今号のコラムで述べられているテストや評価の定義と意義はとても参考になりました。また、大学間コラボレーション支援システムの記事も興味深く拝読させていただきました。（匿名希望）

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■昨今のソフトウェアエンジニアリング関連のJISの動向や、IPAや政府のセキュリティ関連の動向について逐次解説してほしい。（匿名希望）

■公共交通機関におけるICTの活用についての記事を読みたい。（匿名希望）

■ユニークな取り組みをしている研究室の紹介をしてほしい。（匿名希望）

■Suicaのネットワークシステムについて詳細が分かる記事を希望します。（匿名希望）

■情報倫理とその教育について最近の事例をとりあげてほしい。（匿名希望）

■ユーザビリティ向上に関する記事を読みたいです。（匿名希望）

■今後も、専門外の読者にも分かりやすいよう、事例の紹介を含む記事を期待します。（匿名希望）

【本欄担当 松尾健史、乾 孝司／書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax:(03)3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4907.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2008年				
	論文誌「社会を活性化するコンピュータセキュリティ技術」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-F.html	12月1日 (月)		
7月17日 (木) ~	第19回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会	5月16日 (金)	当日のみ	東京電機大学
7月18日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/UBI19.html			神田キャンパス
7月17日 (木) ~	第186回自然言語処理研究発表会	5月27日 (火)	当日のみ	はこだて未来大学
7月18日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/NL186.html			
7月18日 (金) ~	第72回音声言語情報処理研究発表会		6月23日 (月)	盛岡つなぎ温泉
7月19日 (土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SLP72.html		定員になり次第	
7月23日 (水)	連続セミナー 2008「インターネットの進化」 第2回「IPv6のある世界」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
7月23日 (水) ~	第61回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	5月13日 (火)	当日のみ	芝浦工業大学
7月24日 (木)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AVM61.html			豊洲キャンパス
7月24日 (木) ~	第42回コンピュータセキュリティ研究発表会	5月16日 (月)	当日のみ	福岡システム LSI
7月25日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CSEC42.html			総合開発センター
7月24日 (木) ~	第67回デジタルドキュメント研究発表会	5月20日 (火)	当日のみ	北海道大学
7月25日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DD67.html			学術交流会館
7月25日 (金)	第2回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IOT2.html	5月26日 (月)	当日のみ	秋田県田沢湖芸術村
7月25日 (金)	第79回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CH79.html	5月27日 (火)	当日のみ	神奈川県立金沢文庫
7月28日 (月) ~	SAINT2008 International Symposium on Applications and the Internet			フィンランド
8月1日 (金)	http://www.saintconference.org/			
8月5日 (火) ~	JABEE 情報および情報関連分野審査講習会および技術者 教育セミナー http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/acre/T-Acc2008.html		定員になり次第	化学会館会議室 (御茶ノ水)
8月5日 (火) ~	第171回計算機アーキテクチャ研究発表会~2008年並列 ／分散／協調処理に関する『佐賀』サマー・ワークショップ (SWoPP 佐賀 2008) ~ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SWoPP2008.html	4月22日 (火)	当日のみ	アバンセ (佐賀)
8月7日 (木)				
8月5日 (火) ~	第116回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 ~2008年並列／分散／協調処理に関する『佐賀』サマー・ ワークショップ (SWoPP 佐賀 2008) ~ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HPC116.html	4月22日 (火)	当日のみ	アバンセ (佐賀)
8月7日 (木)				
8月6日 (水)	第70回プログラミング研究発表会~2008年並列／分散／ 協調処理に関する『佐賀』サマー・ワークショップ (SWoPP 佐賀 2008) ~ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/PRO70.html	4月22日 (火)	当日のみ	アバンセ (佐賀)
8月6日 (水)				
8月6日 (水)	第26回システム評価研究発表会~2008年並列／分散／ 協調処理に関する『佐賀』サマー・ワークショップ (SWoPP 佐賀 2008) ~ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EVA26.html	4月22日 (火)	当日のみ	アバンセ (佐賀)
8月6日 (水) ~	第109回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会~2008年並列／分散／協調処理に関する『佐賀』 サマー・ワークショップ (SWoPP 佐賀 2008) ~ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/OS109.html	4月22日 (火)	当日のみ	アバンセ (佐賀)
8月7日 (木)				
8月6日 (水) ~	第76回音楽情報科学研究発表会	6月6日 (金)	当日のみ	名古屋大学野依記念館
8月8日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS76.html			
8月7日 (木) ~	第129回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	6月13日 (金)	定員になり次第	サンシャイン志賀 (志賀高原発湯温泉)
8月8日 (金)	https://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/HCI129.html			
8月21日 (木) ~	平成20年度電気関係学会東北支部連合大会	6月13日 (金)		日本大学工学部キャン パス (福島県郡山市)
8月22日 (金)	http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/			
8月22日 (金) ~	第132回グラフィクスとCAD研究発表会	6月18日 (水)	7月30日 (水)	小樽朝里クラッセ ホテル
8月23日 (土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG132.html		17時まで	
8月26日 (火) ~	DA シンポジウム 2008 - システム LSI 設計技術と DA -	5月14日 (水)	7月18日 (金)	遠鉄ホテルエンパイア (静岡県)
8月27日 (水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-DA2008.html			
8月28日 (木) ~	第105回情報システムと社会環境研究発表会	6月30日 (月)	当日のみ	室蘭工業大学
8月29日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IS105.html			
8月30日 (土) ~	4th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech2008)			和歌山県 (アパローン紀の国)
8月31日 (日)	http://www.collabtech.org/			
9月1日 (月) ~	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2008 (SES2008)			東洋大学
9月3日 (水)	http://ses2008.naist.jp/			白山キャンパス (予定)
9月2日 (火) ~	FIT2008 第7回情報科学技術フォーラム			慶應義塾大学
9月4日 (木)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2008/index.html			湘南藤沢キャンパス
9月5日 (金) ~	第164回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	6月15日 (日)	当日のみ	慶應義塾大学
9月6日 (土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CVIM164.html			
9月12日 (金) ~	平成20年度電気関係学会北陸支部連合大会	8月11日 (月)		富山大学五福キャンパ ス工学部
9月13日 (土)	http://jhes.eng.u-toyama.ac.jp/			
9月18日 (木) ~	平成20年度電気関係学会東海支部連合大会	7月16日 (水)		愛知県立大学 (愛知県 愛知郡長久手町)
9月19日 (金)	http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/rengo/			

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月18日(木)～	第14回バイオ情報学研究発表会	7月16日(水)	当日のみ	北海道大学
9月19日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/BIO14.html			百年記念会館
9月19日(金)	情報処理北海道シンポジウム2008 Info-Hokkaido 2008 http://hokkaido.ipsj.or.jp/pukiwiki/	8月1日(金)		稚内北星学園大学(北海道稚内市)
9月19日(金)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第3回「Mobile & Wireless」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
9月22日(月)	第77回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS77.html	7月22日(火)	当日のみ	同志社女子大学
9月24日(水)～	平成20年度電気関係学会九州支部連合大会	7月22日(火)		大分大学工学部且野原 キャンパス(大分県大分市)
9月25日(木)	http://www.jceee-kyushu.jp/			
9月25日(木)～	第46回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究 発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MBL46.html	7月25日(金)	当日のみ	東京理科大学森戸 記念館
9月26日(金)	第68回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DD68.html	7月18日(金)	当日のみ	日立製作所大森ベル ポート
10月15日(水)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第4回「実世界インターネット」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
10月25日(土)	第96回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CE96.html	8月29日(金)	当日のみ	日本文理大学湯布院研 修所(大分県由布市)
10月27日(月)	東海支部主催講演会「アーキテクチャ記述言語ADLの流れを 車載組み込み現場目線で追う」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		参加無料	東桜会館1階第2会議 室(名古屋市)
10月28日(火)～	第71回プログラミング研究発表会	8月28日(木)	当日のみ	松江テルサ
10月29日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/PRO71.html			
10月29日(水)～	組込みシステムシンポジウム(ESS2008)	6月19日(木)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月31日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-ESS2008.html			勝浦ホテル三日月
11月6日(木)～	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2008	8月8日(金)	当日可	
11月7日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/GNWS2008.html			
11月7日(金)～	第133回グラフィクスとCAD研究発表会			九州工業大学 情報工学部
11月8日(土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG133.html			
11月7日(金)～	第13回ゲームプログラミングワークショップ2008(GPW2008)		定員になり次第	箱根セミナーハウス
11月9日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-GPW2008.html			
11月12日(水)～	コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2008)	7月16日(水)		キャンパス・イノベー ションセンター東京
11月13日(木)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ComSys2008.html			かがわ国際会議場
11月25日(火)～	IWSEC2008 International Workshop on Security			
11月27日(木)	http://www.iwsec.org/			
11月27日(木)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第5回「インターネットオペレーション」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
12月9日(火)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第6回「インターネットとコンテンツ流通」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/			
2009年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/	2月28日(土)		
1月22日(木)～	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学 シンポジウム(HPCS2009)			東京大学武田ホール
1月23日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-HPCS2009.html			
2月16日(月)～	第134回グラフィクスとCAD研究発表会			NHK放送技術研究所
2月17日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG134.html			
3月10日(火)～	第71回全国大会			立命館大学びわこ・く さつキャンパス
3月12日(木)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/71kai/			
3月23日(月)～	The 9th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2009)			Athens, Greece
3月25日(水)	http://www.ece.upatras.gr/isads2009/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 6月16日 JABEE 情報および情報関連分野審査講習会および技術者教育セミナー参加申込受付中
- 6月16日 人材募集情報(6月)更新しました
- 6月9日 第51回通常総会報告 平成20年度役員名簿 新名誉会員 平成19年度功績賞 喜安記念業績賞 長尾真記念特別賞のご紹介
- 6月6日 平成20年度役員名簿を更新しました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）
賛助会員（企業） 31,500円（ 〃 ）
賛助会員以外の企業 52,500円（ 〃 ）
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申 込 先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

***特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

■金沢大学総合メディア基盤センター情報教育部門

募集人員 教授 1名
専門分野 総合領域／科学教育・教育工学、情報学
応募資格 博士の学位を有する方、ICT教育用コンテンツの企画・設計・制作、ICT教育の実践の経験を有する方、外部資金獲得によるICT教育の全学的な普及・推進・組織化に参画した経験を有する方、ICT教育関連分野において活発な研究活動を行うとともに社会貢献活動をしている方
着任時期 平成21年4月1日
提出書類 履歴書、システム開発・業務などの経験、業績リスト、教育研究特にICT教育推進の所見、推薦書2通もしくは本人に関する所見を伺える方（2名）の連絡先（Webページ参照）
応募締切 平成20年7月31日（必着）
送 付 先 〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学総合メディア基盤センター 車古正樹（Webページ参照）
照 会 先 総合メディア基盤センター E-mail:koubo@imc.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-6911（Webページ参照）
そ の 他 公募の詳細および所定様式は、Webページ（<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/announce/recruit>）をご覧ください

■電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科

募集人員 助教 1名
所 属 メディアコミュニケーション学講座
専門分野 ネットワーク応用（Webインテリジェンス、Webアート、インターネットを運用したサービス、アミューズメント、コンテンツ流通など）
担当科目／業務 情報系科目の演習、学生実験、その他学科運営に必要な業務
応募資格 博士の学位（着任までに取得見込み可）を有すること、上記専門分野の研究実績とネットワーク運用・管理能力のあること、研究、教育に熱意があること
着任時期 平成20年10月1日以降のなるべく早い時期
提出書類 (1)履歴書、(2)研究業績リスト（次のように分類:1. 著書、2. 査読付き雑誌論文、3. 国際会議、4. 以下としてその他の論文、招待講演、解説、特許、外部資金獲得状況など）、(3)主要論文別刷（3編程度、コピー可）、(4)研究・教育に関する業績の概要と今後の計画（A4用紙3枚程度）、(5)本人の所見を書いた2名の方からの紹介状（その際紹介者の氏名、所属、職名、住所、電話番号、E-mailアドレスを明記のこと）、これら(1)～(5)の原本一揃とそのコピー（A4サイズ片面）1部を送付してください。また、選考結果のお知らせ用に、宛先を記した定形封筒（80円切手貼付）を同封してください
応募締切 平成20年7月31日（必着）
送 付 先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学電気通信学部人間コミュニケーション学科 学科長 福田 豊
「メディアコミュニケーション学講座」と朱書き簡易書留 *提出書類は返却しません
照 会 先 人間コミュニケーション学科 教授 兼子正勝 郵便またはE-mail:kaneko@hc.uec.ac.jpで連絡してください
そ の 他 【任期】5年、ただし再任により2年以内の延長は可能

■高エネルギー加速器研究機構 共通基盤研究施設・計算科学センター

募集人員 准教授 1名(任期なし)
 研究(職務)内容 共通基盤研究施設・計算科学センターに所属し、本機構のネットワークシステムの設計、整備、運用、維持、および改善等々において中核的な役割を果たす。また、本機構が推進する加速器科学研究に求められる情報技術の開発研究に取り組む
 着任時期 採用決定後、できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、研究歴、発表論文リスト(和文・英文別葉)、着任後の抱負、論文別刷(5編以内)、推薦書または参考意見書
 応募締切 平成20年8月1日
 送付先 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 総務部人事労務課任用係
 「教員公募関係」「公募番号」を朱書き書留
 照会先 (1)研究内容等について:計算科学センター長 川端節彌 Tel(029)864-5472(ダイヤルイン)
 (2)提出書類について:総務部人事労務課任用係 Tel(029)864-5118(ダイヤルイン)
 その他 【選考方法】原則として書類選考とするが、必要な場合には面接を行う
 詳細はWebページ(<http://www.kek.jp/ja/jobs/index.html>)をご覧ください

■九州大学情報基盤研究開発センター

募集人員 学術研究員(計算科学専門研究員) 2名程度
 専門分野 計算科学(数値流体、グリッドコンピューティング、分子科学など)
 職務内容 本センターの利用者に対する専門分野のエキスパートとしてのコンサルティングおよび本センターのスーパーコンピュータを使った共同研究の推進
 応募資格 国籍は問わないが、本センターの利用者の相談に応じるだけの日本語能力を有すること。さらに、博士号を有する方で、並列化技術(MPI, OpenMP)などの利用経験を有する方が望ましい
 着任時期 平成20年10月以降のできる限り早い時期
 提出書類 履歴書、業績リスト、主要研究業績別刷(2編以内、コピー可)、これまでの研究概要および着任後の職務内容に対する抱負(それぞれA4用紙1枚程度)、照会可能な方1名の氏名・連絡先・E-mailアドレスなど
 応募締切 平成20年8月22日(必着)
 送付先 〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学情報基盤研究開発センター情報システム部情報企画課企画総務グループ
 総務・研究協力担当 山本敏彦 Tel(092)642-2303 「計算科学専門研究員応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は返却せず
 照会先 情報基盤研究開発センター准教授 南部伸孝 E-mail:nanbu@cc.kyushu-u.ac.jp Tel(092)642-4029 Fax(092)642-3844
 その他 【待遇】経歴に応じて「特任助教」あるいは「特任准教授」の称号を付与する
 【任期】3年間(再任なし)
 【選考方法】書類選考および面接

■慶應義塾大学理工学部／大学院理工学研究科／システムデザイン工学科／総合デザイン工学専攻(システム統合工学分野)

募集人員 准教授、専任講師のいずれか 1名
 所属 システムデザイン工学科総合デザイン工学専攻(システム統合工学分野)
 専門分野 システム工学のデザイン方法論に新しい考え方で取り組み、ハードウェアを基盤とした要素技術の融合やシステム統合的視点に立った研究を行っている方
 教育研究 上記専門分野(学部・大学院)に関する教育・研究、ならびに、システム理論、制御工学、電気系基礎科目などの講義を担当できる方
 応募資格 博士の学位を有し、教育担当に必要な日本語の能力が十分な方
 着任時期 平成21年4月1日
 提出書類 履歴書(様式自由)、研究業績リスト、論文別刷(コピー可)、これまでの研究概要と着任後の抱負(1500字程度)
 応募締切 平成20年8月25日(必着)
 送付先/照会先 〒223-8522 神奈川県横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 主任 菱田公一
 E-mail:hishida@sd.keio.ac.jp Tel(045)566-1739 「教員応募(システム工学デザイン方法論)書類在中」と朱書き書留

■関東学院大学工学部電気電子情報工学科

募集人員 助教 1名(5年任期, 再任不可)
専門分野 ロボティクス分野
担当科目 ロボティクス概論, ロボットインタフェース, 巡回・レスキューロボット, ロボットシミュレーション, ロボティクス関連プロジェクト実習・実験, 卒業研究等から数科目
応募資格 博士の学位を有するか取得見込みの方で, 本学の建学の精神を尊重し, 熱意を持って学生の教育にあたる方
着任時期 平成21年4月1日
提出書類 自筆履歴書, 研究業績リスト, 公表された主要論文・著書等の別刷(5編以内, コピー可), 主要研究業績の概要, 着任後の教育・研究構想, 本人についての所見をいただける方2名の氏名と連絡先
応募締切 平成20年8月29日(必着)
照会先 電気電子情報工学科長 井原俊夫 E-mail:ihara@kanto-gakuin.ac.jp Tel(045)786-7759 Fax(045)786-7098
その他 詳細はWebページ(<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/>)の「教員公募のお知らせ」をご覧ください

■独立行政法人情報通信研究機構

募集人員 パーマネント研究職員 若干名
専門分野 ネットワークアーキテクチャ技術, 暗号・認証技術, ミリ波帯通信システム用デバイス技術, 分子通信技術, 電磁界ばく露評価技術
応募資格 応募資格の詳細は, 機構Webページをご覧ください
着任時期 平成21年4月1日
提出書類 訪問票(機構指定様式)*, 研究経歴書(要約を含む), 論文リスト(誌上発表および口頭発表別), 主要な研究業績(主な著書あるいは論文等3点程度・抜き刷り・コピー可) ※訪問票の様式は, 機構Webページからダウンロードしてください
応募締切 平成20年8月29日(必着)
送付先/照会先 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1 独立行政法人情報通信研究機構総務部人事室人事チーム
E-mail:jinjiti@ml.nict.go.jp Tel(042)327-7625 Fax(042)327-7590
「平成21年度パーマネント研究職員公募応募書類」と朱書き郵送
その他 機構Webページ(<http://www2.nict.go.jp/m/m612/index.html>)

■大同工業大学情報学部情報システム学科

募集人員 教授または准教授 1名
専門分野 情報工学(組込みソフトウェア分野)
担当科目 組込みシステムプログラミング, リアルタイムシステム, ソフトウェア設計法などに関する講義および演習・研究指導
応募資格 博士の学位を有する方(取得見込みも含む)が望ましいが, 実務経験豊富な方も考慮する
着任時期 平成21年4月1日
提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 資格, 所属学会, 社会的活動, 表彰, 教育関係での経験), 教育・研究業績リスト((1)著書, (2)原著学術雑誌論文(査読の有無に分けて記述), (3)国際会議論文, (4)総説・解説, (5)参加プロジェクト, (6)特許, (7)その他), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 研究費導入実績(科学研究費補助金等), 教育・研究に対する抱負(A4用紙1枚で1000字程度), 参考意見を伺える方2名の氏名と連絡先
応募締切 平成20年8月29日(必着)
送付先 〒457-8530 愛知県名古屋市中区滝春町10-3 大同工業大学 事務部長 大矢郁夫
「情報学部情報システム学科教員応募書類」と朱書き簡易書留または宅配便 *応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
照会先 情報システム学科長 佐藤秀樹 E-mail:hsato@daido-it.ac.jp Tel(052)612-6651 (ext. 2357)
その他 詳細はWebページ(<http://www.daido-it.ac.jp/ippan/saiyou.html>)の採用情報を参照ください

■名古屋大学大学院情報科学研究科情報システム学専攻

募集人員	准教授 1名
所 属	ソフトウェア論講座
専門分野	新世代情報システムに対応するソフトウェアの理論および開発方法論 キーワード例：Dependable/Secure software, System program, Software platform, Programming environment, Software paradigm, Software process, Software validation and verification
担当科目	大学院情報科学研究科情報システム学専攻およびITスペシャリストコースにおける 세미나, 演習, 講義など, および, 工学部電気電子・情報工学科情報工学コースにおける講義など
応募資格	卓越した研究業績のある博士号取得者, 情報システム分野の教育に熱意を持っている方
着任時期	平成21年4月1日(それ以前も可)
提出書類	履歴書, 教育実績リスト(担当科目(含非常勤), 研究指導実績, 作成した教材など), 研究業績リスト(著書, 学術論文誌, 国際会議などを区分して記述), 主要論文別刷(3編), これまでの研究概要(A4用紙2枚程度), 今後の研究計画および教育についての抱負(A4用紙1枚程度), その他選考に役立つ情報(学会および社会活動, 獲得した外部資金, 受賞, 特許など), 応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名と連絡先
応募締切	平成20年8月29日(必着)
送付先/照会先	〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 C3-1 (631) 名古屋大学大学院情報科学研究科情報システム学専攻 専攻長 高濱盛雄 Tel(052)788-6113 「情報システム学専攻准教授応募書類在中」と朱書き持参または簡易書留 *応募書類は原則として返却しません
そ の 他	応募書類は本公募の准教授選考のためのみに使用し, それ以外には使用しません。なお, 選考の過程で講演をお願いすることがあります 本学では採用に際して男女共同参画に配慮しており, 女性の積極的な応募を期待します

■近畿大学工学部情報システム工学科

募集人員	教授(大学院を担当可能な方)もしくは准教授 1名
専門分野	システム工学分野
担当科目	情報システム設計法, ソフトウェアの品質とシステムの信頼性, 情報技術関連科目, 実習, 演習
応募資格	博士の学位を有し, 専門分野の研究業績があり, 教育研究に熱意があり, 実務経験がある方が望ましい
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	各1部: 履歴書, 研究業績リスト(著書, 学術論文, 国際会議論文・シンポジウム, その他に分けて記載), 主要論文別刷(コピー可), 現在までの研究概要(A4用紙1枚程度), 着任後の研究計画および情報システム工学教育に対する抱負(各A4用紙1枚程度), 意見をお伺いできる方2名の連絡先
応募締切	平成20年9月6日(必着)
送 付 先	〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部 工学部長 椿原 啓 「情報システム工学科教員応募書類」と朱書き簡易書留
照 会 先	情報システム工学科 学科長 小林規矩男(こばやしきくお) E-mail:kobayasi@hiro.kindai.ac.jp Tel(082)434-7000(ext. 889) Fax(082)434-7011
そ の 他	書類審査で1次選考を行い, 2次選考は面接をさせていただきます

■早稲田大学理工学術院創造理工学部・研究科経営システム工学科・専攻

募集人員	教員(教授, 准教授または専任講師) 1名
専門分野	下記の(1)または(2)のいずれかを専門分野とされる方 (1)システムインテグレーション等経営システム工学領域における情報システムデザイン, 情報システム開発, ソフトウェア開発の研究, 教育にあたる方 (2)膨大なデータから意味ある情報を抽出し経営システム工学領域に応用する研究, 教育にあたる方。たとえば, データベース, ネットワーク等に関する工学的技術を用いて, マーケティング, 研究開発管理, 商品・サービス企画, 企業戦略などに応用できる方
担当科目	上記の専門分野に関係する専門科目, および学科の情報系基礎科目等(実験・演習, 研究指導を含みます)。本学科・専攻のカリキュラム構成と本人の専門を踏まえて科目を担当していただきます
応募資格	着任時において博士の学位を有し, 経営システム工学への関心と造詣が深いことを示す業績があること
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	下記Webページを参照
応募締切	平成20年9月6日(必着)
送 付 先	早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科連絡事務室 Tel(03)5286-3012
そ の 他	提出書類・選考方法・照会先等を含む詳細は, 本学科Webページ(http://www.mgmt.waseda.ac.jp/news/kobo20080906.pdf)を必ずご覧ください

■筑波大学学術情報メディアセンター

- 募集人員 センター勤務の助教 1名(着任時から5年以内にテニユア付与が認められない場合は、任期5年間になることに留意のこと)
- 専門分野 情報工学
- 担当科目 システム情報工学研究科コンピュータサイエンスの教育研究、情報科学類、または、情報メディア創成学類の教育
- 応募資格 着任までに博士の学位を有すること。情報システムに関する専門知識を持ち、システムの開発や運用の意欲を持つものであること。学術情報メディアセンターにおける情報システムの企画、運用を推進できる方。コンピュータサイエンス専攻における教育研究、ならびに、情報科学類または情報メディア創成学類における教育を行えること
- 着任時期 平成21年4月1日以降のできるだけ早い時期
- 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要な著書・学術論文別刷、センターにおける業務への抱負
- 応募締切 平成20年9月15日(必着)
- 送付先/照会先 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学学術情報メディアセンター センター長 板野肯三
E-mail:itano@cc.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-2450 「応募書類在中」と朱書き書留
*応募書類は、原則として返却いたしません
- そ の 他 書類選考の後、面接選考(プレゼンテーションを含む)を実施します

■筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻

- 募集人員 准教授または助教 3名(助教の場合は、期間5年間のテニユアトラックの対象)
- 専門分野 A)ソフトウェアおよびシステム分野:ソフトウェア工学、システム開発管理、ソフトウェア検証、ソフトウェア基礎理論、セキュリティ、ディペンダブルシステム、組み込みシステム
B) Web・ユビキタスコンピューティング分野:Webコンピューティング、Webサイエンス、Webサーチ・マイニング、セマンティックWeb、ユビキタスコンピューティング、センサーネット
C) 情報メディア分野:メディア情報の理解・照合・検索、テキストマイニング、機械学習、実世界データとAI、人とメディアのインタラクション
- 担当科目 コンピュータサイエンス専攻における教育・研究と、情報科学類または情報メディア創成学類(学部に相当)における教育。さらに、全学を対象とした共通科目情報処理(教養科目に相当)教育
- 応募資格 博士の学位を有し(着任時期までに取得見込みも可)、専門分野において優れた研究業績があり、大学院・学類における教育・研究に熱意を有する方
- 着任時期 決定後できるだけ早い時期
- 提出書類 応募分野および応募ポスト、履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記)、教育・研究に対する抱負と自己アピール(2000字以内)、研究業績リスト(学術論文、国際会議論文、著書、解説、その他の研究発表、特許、受賞等のリスト。共著者名はすべて記入。過去5年間に外部研究資金獲得実績のある方はその情報も記入)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、教育実績、所属学協会および活動歴、意見を求め得る方3名の氏名・所属・連絡先
- 応募締切 平成20年9月16日(必着)
- 送付先/照会先 〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院システム情報工学研究科
コンピュータサイエンス専攻長 北川博之 E-mail:kitagawa@cs.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-5522
- そ の 他 詳細はWebページ(<http://www.cs.tsukuba.ac.jp/information.html#6>)を参照ください

■北見工業大学情報システム工学科

- 募集人員 教授または准教授 1名(任期5年・ただし、任期満了時の再任審査により再任可能で、所定の要件を満たせば65歳まで在職可能)
- 専門分野 知識工学関連分野(人工知能、知能ロボティクス、ソフトコンピューティング、データマイニング、エージェント工学、スマートエンジニアリング、ヒューマンインタフェース、組み込みシステム等)
- 担当科目 人工知能Ⅱ、プログラミングⅡ、大学院関連専門分野科目等
- 応募資格 博士の学位を有する方。大学院博士後期課程を担当できる方。外国語を母国語とする方の場合には、講義も含め学内の諸業務の遂行が可能な日本語能力を有し、英語での講義も可能な方が望ましい
- 着任時期 平成21年4月1日
- 提出書類 履歴書(学歴は高等学校入学以降、社会ならびに学会における活動歴含む)、研究業績リスト(査読付き学術論文、国際会議、参考論文(解説等)、著書、特許、口頭発表などに分類して記載。ただし、口頭発表は総件数と過去5年間の発表題目・講演会名を記載。責任著者に※印を付加)、主要論文別刷(5編、コピー可)、外部資金獲得状況リスト(代表、分担を明記)、今後の教育と研究に関する抱負(それぞれ1000字程度)、推薦書1通または照会可能な方2名の所属・氏名・連絡先
- 応募締切 平成20年9月19日(必着)
- 送付先/照会先 〒090-8507 北海道北見市公園町165 北見工業大学 情報システム工学科教授または准教授選考委員会委員長 三浦則明
E-mail:miura@cs.kitami-it.ac.jp Tel(0157)26-9346 Fax(0157)26-9344
「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き書留
- そ の 他 一次選考(書類審査)を通過した方について、面接による最終選考を行います。なお、面接に伴う旅費等は本人負担となります
本学では、男女共同参画社会基本法に則って教員の選考を行います
北見工業大学Webページ(<http://www.kitami-it.ac.jp/>)

■福岡工業大学

募集職種	准教授または助教
募集人員	(a)工学部電子情報工学科電子工学関連分野 1名 (b)工学部電子情報工学科情報工学関連分野 1名
専門分野	(a)電子工学関連分野, 主な担当科目: 制御工学, 計測工学, 電子情報実験, その他 (b)情報工学関連分野, 主な担当科目: プログラミング関連科目, その他
応募資格	該当専門分野で研究業績があり, 博士の学位がある方, もしくは着任時までに取得見込みの方, 大学院の指導ができる方, 教育経験のある方が望ましい
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	Web ページ (http://www.fit.ac.jp/elec/) を参照ください
応募締切	平成20年9月19日 (必着)
照会先	電子情報工学科 学科長 川畑茂徳 E-mail:kawabata@fit.ac.jp Tel(092)606-3136 Fax(092)606-0726

■明石工業高等専門学校電気情報工学科

募集人員	准教授または講師 1名
専門分野	電子・情報通信工学にかかわる総合領域
担当科目	電子回路, 通信工学, 不規則信号解析, 情報通信システム, 工学実験, 卒業研究等
応募資格	博士の学位を有する方
着任時期	平成21年4月1日
応募締切	平成20年9月30日 (必着)
送付先	〒674-8501 兵庫県明石市魚住町西岡679-3 明石工業高等専門学校 総務課人事係
照会先	学科長 堀桂太郎 E-mail:horik@akashi.ac.jp Tel(078)946-6127
その他	詳細はWeb ページ (http://www.akashi.ac.jp/) を参照ください

■岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻

募集人員	助教 (任期5年, 再任なし) 1名
所属	計算機科学講座 (計算機工学分野)
専門分野	計算機ソフトウェア, 基盤ソフトウェア, および関連する情報学, 情報工学分野
応募資格	博士の学位を有すること, 計算機科学講座における研究・教育, および, 工学部情報工学科における教育 (特に, 実験・プログラミング演習) に参画できること
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	履歴書 (自由書式), 業績リスト (自由書式), 主要論文別刷, 今後の教育研究計画 (1000字以内), 推薦書 (ただし, 応募者について照会可能な方2名以上の氏名・連絡先に代えることができる)
応募締切	平成20年9月30日 (必着)
送付先	〒700-8530 岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻計算機科学講座 講座主任 尺長 健 E-mail:jimu@cs.okayama-u.ac.jp Tel(086)251-8177 「教員応募書類在中」と朱書き書留

■東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻

募集人員	教授 1名
所属	通信システム工学講座
専門分野	下記の分野の研究教育を推進できる方, 学部および大学院の教育ならびに研究指導を担当できる方, 画像情報などの大量のマルチメディア情報を認識, 理解, 処理, 符号化する次世代のアルゴリズムやそのための並列分散型高度情報処理システムに関する研究と教育
担当科目	計算機学, 通信システム工学B, 回路網工学, 学生実験など
応募資格	応募時に博士の学位を有すること, 国籍は問わないが日本語および英語で的確に意思の疎通ができ, かつ日本語で学生を指導できる能力を有すること
着任時期	平成21年4月1日以降でできる限り早い時期
提出書類	履歴書, これまでの研究歴およびその概要 (文中で研究業績リストの番号を引用してください), 研究業績リスト (学術論文, 国際会議論文, 解説記事, 著書, 特許, 受賞, 学会・社会における活動状況, 代表あるいは分担者としての研究費獲得状況, その他の特記事項, に分類して作成すること), 主要原著論文別刷 (5編, コピー可, およびそれらの概要), 教育実績, 今後の教育・研究に対する抱負 (1000字程度), 応募者の能力や人柄を評価できる方2名の氏名・所属・職名・連絡先住所・電話番号・Fax 番号・E-mail アドレス *書類はA4用紙に横書き, 項目ごとに別業とする
応募締切	平成20年9月30日
送付先/照会先	〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05 東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻 学科長 牧野正三 E-mail:makino@ecei.tohoku.ac.jp Tel/Fax(022)795-7172 「公募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却いたしません

■長岡工業高等専門学校電子制御工学科

募集人員 教授 1名
専門分野 コンピュータエンジニアリングおよびその関連分野
担当科目 1～5年および専攻科における数値解析，デジタル論理回路，データ通信工学等の講義，実験，研究指導
応募資格 博士の学位を有し，高等専門学校における教育と学生指導に理解と熱意があり，かつ研究活動にも意欲がある方
着任時期 平成21年4月1日
応募締切 平成20年9月30日（必着）
照会先 電子制御工学科長 石田博樹 E-mail:ishida@nagaoka-ct.ac.jp Tel(0258)34-9211
その他 詳細はWebページ (<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/info/kyoin.html>)の教員公募情報をご覧ください

■日本大学生産工学部数理情報工学科

募集人員 教授・准教授・助教のいずれか 1名
専門分野 メディアデザイン関連分野，コンピュータグラフィクス，エンタテインメントコンピューティング，ヒューマンコンピュータインタラクションなど
応募資格 教授：大学院博士後期課程における教育・研究の指導力を有する方で，博士の学位を有すること
准教授：博士の学位を有すること，大学院における教育・研究の指導力を有する方，またはソフトウェア開発の実務経験がある方が望ましい
助教（任期制：3年3期）：博士の学位を有すること
着任時期 平成21年4月1日
提出書類 履歴書（学歴，職歴，教育歴，所属学会名，学会活動，社会活動など），研究業績リスト（博士論文，学会論文，国際会議論文，解説論文，著書，特許などに分けて記載），主要論文別刷（コピー可），教育に対する抱負（1000字程度），研究に対する抱負（1000字程度），応募者について所見をいただける方2名の連絡先（E-mailアドレス／電話番号）
応募締切 平成20年9月30日（必着）
送付先／照会先 〒275-8575千葉県習志野市泉町1-2-1 日本大学生産工学部数理情報工学科 学科主任 角田和彦
E-mail:k7kakuda@cit.nihon-u.ac.jp Tel(047)474-2650（事務室）「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留

■法政大学情報科学部コンピュータ科学科

募集人員 教授または准教授 1名
専門分野 Linux，組込みシステム／ソフトウェア，モバイルコンピューティング，ユビキタスコンピューティング
担当科目 オペレーティングシステムなど
応募資格 学位（博士）を有すること，博士後期課程の研究指導ができること
着任時期 平成21年4月1日
提出書類 履歴書（様式任意），業績書，主要論文別刷（5編以内），研究・教育に関する計画と抱負（4000字以内），応募者について問い合わせできる方2名の氏名・所属・連絡先
応募締切 平成20年9月30日（必着）
送付先／照会先 〒184-8584東京都小金井市梶野町3-7-2 法政大学 情報科学部長 花泉 弘
E-mail:hana@hosei.ac.jp Tel(042)387-4559 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却しません

■福井大学工学研究科情報・メディア工学専攻

募集人員 教授 1名
所属 本専攻の計算機・通信講座に所属し，工学部情報・メディア工学科の教員を兼務
専門分野 情報ネットワーク，グリッドコンピューティング，ネットワークセキュリティ，アルゴリズム論，数理論理学
応募資格 博士の学位を有すること，上記いずれかの専門分野において研究業績があり，博士後期課程の研究指導を担当できる方，情報・メディア工学に関する教育・研究に熱心な方
着任時期 平成21年4月1日以降のなるべく早い時期
提出書類 履歴書（着任可能時期と連絡先を記載のこと），研究業績リスト（学術雑誌論文，国際会議論文，その他の論文，ならびに取得済み特許等のカテゴリ別に分類し，論文については査読の有無を明記），主要論文別刷（12編），これまでの研究の概要，今後の研究計画および教育に関する抱負，応募者に関し意見を伺える方の氏名・所属・役職・連絡先
応募締切 平成20年10月31日（必着）（適任者があれば，締切日より早く選考を開始することがあります）
送付先／照会先 〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学大学院工学研究科情報・メディア工学専攻 専攻長 吉田俊之
E-mail:tyoshida@fuis.fuis.fukui-u.ac.jp Tel(0776)27-8469 Fax(0776)27-8751
「情報・メディア工学専攻教員人事公募」と朱書き書留
その他 最終候補となられた方には，本学において模擬授業をしていただき，採用の評価に加えさせていただきます

■ 平成20年度電気関係学会北陸支部連合大会開催案内

日 時 平成20年9月12日(金), 13日(土) (12日:一般講演, 午後:特別講演, 懇親会, 13日:一般講演)

会 場 富山大学 五福キャンパス 工学部(聴講のみは参加無料)(〒930-8555 富山市五福3190)

投 稿 者 主催または共催学会の会員に限る。(連名の場合は少なくとも1名は会員のこと。)

申 込 ・ 投 稿 「講演申し込み」と「投稿」は同時にオンラインで行う。オンライン登録のページの注意事項に十分気をつけること。1件につき2,000円の講演申込費を郵便振替で納入し, 郵便振替の通信欄に必ず登録IDを記入すること。ただし, 講演者が学生員または准員の場合は1,000円とする。(学生であっても主催または共催学会の学生会員(学生員または准員)でない場合, 申込費は2,000円となる。また, 学会へ入会手続き中の場合は, その入会申込み書のコピーを実行委員会宛に送付し, 1,000円を納付する。)

申込投稿期間 平成20年7月14日(月) ~ 平成20年8月11日(月) 24時

原 稿 用 紙 大会ホームページから必ず所定のテンプレートファイルをダウンロードして使用すること。CD版講演論文集を出版する。

講 演 口頭発表のみで講演時間は12分(質疑時間を含む)とする。会場ではパソコンとプロジェクタを用意しております。OSはWindows XP, アプリケーションソフトはPower Point 2007です。講演者はデータをUSBメモリでお持ち下さい。なお, 不測のトラブルに備えて, 電子ファイルのバックアップをご準備下さい。

優 秀 論 文 賞 各学会の優秀論文発表賞に応募する場合は, 応募用紙を大会ホームページ(あるいは各学会支部HP)よりダウンロードして, 必要事項を記入の上, 平成20年8月11日(月)までに庶務幹事 堀田裕弘 宛に郵送すること。(詳細は申込み時確認のこと)

特 別 講 演 会 9月12日(金) 15:30~17:00(予定), 工学部106番教室
名古屋大学大学院 教授 福田 敏男氏「ロボットメカトロシステムの現状と将来」

懇 親 会 9月12日(金) 18:00~(予定), 富山県民会館 8階 「キャッスル」の間(富山市新総曲輪4-18)

事 務 局 及 び 〒930-8555 富山市五福3190 富山大学工学部内 電気関係学会北陸支部連合大会実行委員会

問 い 合 せ 先 Tel/Fax : 076-445-6711 (委員長 作井正昭, 076-445-6758 (庶務 堀田裕弘), 076-445-6983 (会計 大路貴久)
E-mail : jhes@eng.u-toyama.ac.jp (実行委員会), 大会ホームページ <http://jhes.eng.u-toyama.ac.jp>

主 催 電気学会, 電子情報通信学会, 照明学会, 映像情報メディア学会, 日本生体医工学会, 情報処理学会, 計測自動制御学会, 日本音響学会, 電気設備学会の各北陸支部, 日本光学会

共 催 I E E E名古屋支部

後 援 (財)富山県高等教育振興財団, (財)富山県新世紀産業機構,

協 賛 富山大学工学部

2008年度 画像符号化シンポジウム(PCSJ2008), 映像メディア処理シンポジウム(IMPS2008) 開催案内

画像符号化シンポジウム(PCSJ)と映像メディア処理シンポジウム(IMPS)は昨年に引き続き修善寺の美しい自然の中にある施設を会場とし, 以下のように開催することとなりました。また, シンポジウムでの発表を中心に, 電子情報通信学会和文論文誌Dにおいてレター特集号を計画しておりますので, 是非ご投稿, ご参加頂たくご案内申し上げます。

【 日 時 】 2008年10月29日(水) 午後 ~ 31日(金)

【 会 場 】 ラフォーレ修善寺(静岡県伊豆市大平1529) TEL. 0558-72-3311

【 交 通 】 伊豆箱根鉄道修善寺駅から車で20分

【 講 演 内 容 】 画像符号化, 映像メディア処理に関する口頭発表・ポスター発表, 特別講演, パネル討論等

【 申 込 締 切 】 講演を申し込まれる場合 7月31日(木)

割引料金※で聴講参加される場合 9月26日(金)

※9月27日以降の聴講申込は若干高額となります。

【 問 合 先 】 NTTサイバースペース研究所 高村誠之

E-mail : pcsj-imps2008@lab.ntt.co.jp TEL. 046-859-2371 FAX. 046-859-2829

なお, 詳細な開催案内, 申込方法などに関する情報を以下のWWWサイトで提供しております。

PCSJ, IMPS ホームページ <http://www.pcsj-imps.org/>

【 主 催 】 電子情報通信学会画像工学研究専門委員会

【 共 催 】 映像情報メディア学会メディア工学研究委員会・画像電子学会・
情報処理学会オーディオビジュアル複合情報処理研究会

連続セミナー2008

本連続セミナーでは、WIDE Project 20周年を踏まえ、WIDE Projectのメンバーを中心にした講師陣による、インターネットの歴史から最先端の研究や運用技術について紹介する、全6回のセミナーを企画しました。

普段何気なく使っているインターネットですが、最先端の研究は日夜進んでいます。

インターネットの将来と可能性、本当のIPv6の意味、日本が世界的に強みを持つMobile&Wirelessの世界、仮想空間から実空間に飛び出したインターネット、普段は触ることのないネットワーク運用のノウハウ、最先端のコンテンツ流通技術など、知識欲をくすぐる内容を取り揃えました。

本連続セミナーでは、インターネットの本質について考える機会を提供します。

第1回	6/23 (月) 9:30-17:00	インターネットの発展と WIDE プロジェクトの役割	コーディネータ 宮地 利幸 (独) 情報通信研究機構
第2回	7/23 (水) 9:30-17:00	IPv6 のある世界	コーディネータ 坂根 昌一 横河電機 (株)
第3回	9/19 (金) 9:30-17:00	Mobile & Wireless	コーディネータ 島 慶一 IJJ 技術研究所
第4回	10/15 (水) 9:30-17:00	実世界とインターネット	コーディネータ 河口 信夫 名古屋大学
第5回	11/ 調整中 9:30-17:00	インターネットオペレーション	コーディネータ 宇多 仁 北陸先端科学技術大学院大学
第6回	12/9 (火) 9:30-17:00	インターネットとコンテンツ流通	コーディネータ 若山 史郎 (株) 東芝

主催：(社) 情報処理学会 協力：WIDE PROJECT

協賛：(社) 情報サービス産業協会 / (社) 日本情報システム・ユーザ協会 / (社) 電子情報技術産業協会 /

(予定) (社) 電子情報通信学会 / (独) 情報処理推進機構 / 東京電機大学 未来科学部

【参加費】(消費税込み)

	6 回分	3 回分	1 回分
会 員	84,000 円	63,000 円	28,000 円
非会員	105,000 円	78,750 円	35,000 円
学 生	12,600 円	9,450 円	4,200 円

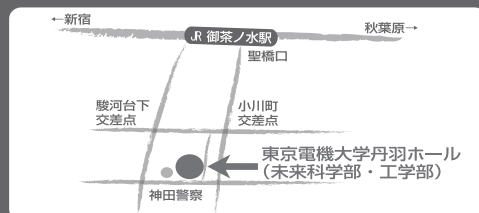
※情報処理(個人・賛助会員)、電子情報、電気、照明、映像情報の各学会個人会員にならびに情報サービス産業協会(JISA)会員、日本情報システム・ユーザ協会(JIAS)会員、電子情報技術産業協会(JEITA)会員の方は会員価格です
※既に終了した回を後からお申込された場合には、その回の資料を郵送させて頂きます
の方は会員価格です

【問合せ先】 社団法人 情報処理学会 事業部門

e-mail: jigyos@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8373 Fax.(03)3518-8375

【会場】 東京電機大学 丹羽ホール (未来科学部・工学部)

東京都千代田区神田錦町2-2 神田キャンパス7号館1F



インターネットの進化
これまでの20年と今後の発展を考える

WIDE
PROJECT



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/>

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショ ップ，講演会，講習会などの論文募集・ 参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

平成 20 年 5 月 30 日、学士会館にて第 51 回通常総会が開催され、5 月の終わりにしては肌寒い小雨の降る天気にもかかわらず、大勢の方々にご出席いただいた。毎回総会当日の、会場座席の名札貼り、受賞者の席の準備、受付、プロジェクタでの資料の投影、表彰式、写真撮影など、細かな仕事は事務局スタッフが総出で当たっている。会場でのこれらの仕事は、日頃のデスクワークとかなり勝手が違い、立ち仕事で骨の折れる作業だ。一方、大半のスタッフが駆り出された後の事務所で留守を守る役割も、少人数での通常業務の対応となり忙しいに違いない。だが、事務局スタッフは分担された仕事を快く引き受け、最後まで責任をもって役割を果たしている。こうしたスタッフの力によって総会は開催されているのである。

学士会館で総会を開催するようになったのは、事務局を芝浦から御茶ノ水に移転してからだが、ちょうどそのころ、学会では、財政基盤強化の施策実施の真っ最中で、総会でも懇親会をととても儉約した結果、会半ばで食べ物も飲み物も底をつき、ご出席くださった方々にずいぶんさびしい思いをさせてしまったこともあった。

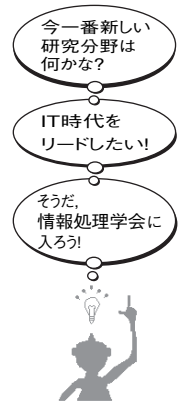
この総会準備をお世話させていただくことが私の仕事の 1 つであり、毎行き届かぬことがたくさんあったと反省するのだが、今回もとても協力的な事務局スタッフに助けられ仕事できたことを大変ありがたく思う。

(新田美子／管理部門)

ITの最新情報，研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!



申込／照会先 社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事 業／国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

ご意見をお寄せください！

【8月10日頃までにお出しください】

宛 先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4907.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか? : (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合 :
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2008年7月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a …大変参考になった b …よい c …普通、どちらとも言えない d …悪い e …読んでいない]

特集: 情報専門学科カリキュラム標準 J07

1. 情報専門学科カリキュラム標準 J07 について 10-1-
2. コンピュータ科学領域 (J07-CS) 10-2-
3. 情報システム領域 (J07-IS) 10-3-
4. ソフトウェアエンジニアリング領域 (J07-SE) 10-4-
5. コンピュータエンジニアリング領域 (J07-CE) 10-5-
6. インフォメーションテクノロジー領域 (J07-IT) 10-6-
7. 一般情報処理教育 (J07-GE) 10-7-

小特集: ソフトウェア工学温故知新

1. ソフトウェア工学の40年 10-8-
2. アウトサイドイン指向ソフトウェア工学に向けて 10-9-
3. 日本のソフトウェア工学の今と未来 10-10-
- 実装攻撃に対抗する耐タンパー技術の動向 10-11-
- ドイツ人工知能研究センター (DFKI) の20年 10-12-
- 小中学生対象のロボット競技世界大会レポート 10-13-
- 計算の視点から音楽の構造を眺めてみると: 計算論的音楽理論について 10-14-
- 平成19年度論文賞の受賞論文紹介 10-15-
- 平成19年度長尾真記念特別賞紹介 10-16-
- 平成19年度喜安記念業績賞紹介 10-17-
- 研究会千夜一夜: インターネットと運用技術研究会 (IOT) 10-18-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

今回の特集では、大学等の高等教育における情報専門学科カリキュラム標準 J07 を取り上げました。IT 技術が社会に浸透するにつれ、多様な技術者の育成が社会から求められていることが背景にあります。

本会でも以前から J90, J97 等をはじめとするカリキュラム標準を策定し、並行して各領域に対応する分野の検討を進めてきました。今回、CC2001/CC2005 を土台に、CS/SE/IS/CE/IT

領域に関して我が国の状況やニーズに対応した改訂を進め、独自に GE を加える形で J07 を策定しました。今後の高等教育での情報専門教育における、大きな方向性を示せたと感じています。本特集に快くご協力いただいた関係者の方々に感謝いたします。

(兼宗 進／本特集エディタ)

今回のテーマは「ソフトウェア工学温故知新」です。「古きを訪ねて新しきを知る」の意ですが、1968 年にソフトウェア工学が学問として成立してほぼ 40 年になります。1968 年といえば、最近の米国大統領選挙活動でのクリントン女史の言葉にもあったように、キング牧師やロバート・ケネディの暗殺があった年です。ベトナム反戦デモが世界中に広がった時代でもありました。そんな年に産声をあげた学問だということに感慨をいだく世代と、ダイクストラやパルナス（情報隠蔽の概念を提唱）といっても教科書でしか知らないという世代に読者層は大きく分かれるのが現実でしょう。しかしその両者に楽しんでもらい、

今後のソフトウェア工学に関して議論を始めてもらいたい、そんな気持ちで今回の小特集を編集しました。6 月 2 日にソフトウェア工学研究会主催で来日中のパルナス教授の講演会を開いたところ、急な告知にもかかわらず多くの参加があり、広い世代からの関心を集めていました。温故知新が理解されていることを感じ、ほっとしました。パルナス氏は現在 Middle way software という会社を個人でやられているそうで、理論と実践の両方を見据えた「中庸の道」を説かれる姿はまさに生きた古典を見る思いでした。

(羽生田栄一／本小特集ゲストエディタ)

次号（8 月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」情報爆発時代におけるわくわくする IT の創出を目指して

情報爆発時代におけるわくわくする IT の創出を目指して／キーワードサーチを越える情報爆発サーチ—自然言語処理で価値ある未知をマイニング—／情報爆発時代のための新しい超高速アルゴリズム／情報爆発は情報システムをも「爆発」させる—超大規模分散システムの指数的拡大へのチャレンジ—／対話を通じてユーザの意図・興味を探り情報検索・提示する情報コンシェルジュ／IT による社会基盤の刷新とオープン・イノベーション／SlothLib/EaRDB：マイサーチエンジン開発環境支援／TSUBAKI：深い言語処理を特長とするオープンサーチエンジン基盤／アカデミックリンケージ：膨大な学術情報へのアクセスを支援するリンケージ基盤／InTrigger：オープンな情報処理・システム研究プラットフォーム／IMADE：会話の構造理解とコンテンツ化のための実世界インタラクション研究基盤／X-Sensor：大規模実証実験を可能とするセンサネットワークテストベッド

「ミニ小特集」コンピュータ将棋は止まらない

第 18 回世界コンピュータ将棋選手権報告／恐るべし、コンピュータ将棋／女流棋士として見たコンピュータ将棋／最近のコンピュータ将棋の技術背景と激指／柵瀬将棋の技術背景

解説

次世代 VoIP を考える—VoIP Conference 2008 での議論から— …………… 西谷智広 他

トピックス

情報技術の国際標準化と日本の対応—2007 年度の ISO/IEC JTC 1 および情報規格調査会の活動— …………… 情報規格調査会

道しるべ 計算の視点から音楽の構造を眺めてみると

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター（同協会より権利を再委託）と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません（社外頒布用の複写は許諾が必要です）。権利委託先：(中法) 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ～ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		
同封 (A 判 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

■「情報処理」

発 行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000 部
 体 裁 A4 判
 発 行 日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 アドコム・メディア（株）(Tel/Fax/E-mail は下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の 10%増です。ただし、表 4 は不可。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア（株）宛にご請求ください。

■「情報処理」 49 巻 7 号 掲載広告（五十音順）

☐ IDG ジャパン 表 3 ☐ 共立出版..... 目次前
☐ インタフェース..... 表 2 ☐ 情報通信研究機構..... 前付最終上
☐ オーム社..... 表 2 対向 ☐ 日立製作所..... 表 4

☐ すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ お 名 前			
勤 務 先	所属部署		
所 在 地	(〒 -)		
TEL ()	-	FAX ()	-
ご専門の分野			



お問合せ・お申込み・資料請求は
 広告総代理店 **アドコム・メディア（株）**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ～ 50 口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10 ～ 19 口)



株式会社 NTT データ
(株) NTT データ

Google™

グーグル (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft®

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ～ 9 口)



NTT コムウェア
(株) NTT コムウェア

OKI

沖電気工業 (株)



(株) インプレス IT



(株) うえじま企画

SONY

ソニー (株)

コトバ★ウチュウ

(株) ニュースウォッチ

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

楽天

楽天 (株)

●●● 賛助会員 (2 口)



(株) KDDI 研究所



NTT アドバンステクノロジー
(株)

Canon

キヤノン (株)



(株) 言語工学研究所



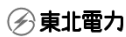
三協印刷 (株)

SANBI

三美印刷 (株)



鉄道情報システム (株)



東北電力 (株)



日本ビクター (株)



日本放送協会放送技術研究所

インテル (株) / キーウェアソリューションズ (株) / (株) デンソー / (株) メディアフラッツ

【A～Z】

(株) CIJ
CRIMSON INTERACTIVE
PVT. LTD.
(株) CSKシステムズ
(株) FFC
(株) HBA
HOYA(株)
ITエンジニアリング(株)
JRC エンジニアリング(株)
(株) KDDI研究所
MHIエアロスペースシステムズ(株)
NECシステムテクノロジー(株)
(株) NEC 情報システムズ
NECソフト(株)
NECソフトウェア東北(株)
NECフィールドング(株)
NTTアドバンステクノロジー(株)
NTTコムウェア(株)
NTTソフトウェア(株)
(株) NTT データ
(株) NTT データCCS
(株) NTT データ関西
(株) NTT データ九州
(株) NTT データ中国
(株) NTT データ東海
(株) NTT データ東北
(株) NTTドコモ
NTT横須賀研究開発センタ
(株) PFU
TIS(株)
(株) UFJ日立システムズ

【あ行】

アートシステム(株)
アイアンドエルソフトウェア(株)
(株) アイヴィス
(株) アイ・エス・ビー
アイシン精機(株)
(株) アイズファクトリー
(株) アイネス
アイビーシー(株)
(株) アドバンス・メディア
(株) アルファシステムズ
池上通信機(株)
伊藤忠テクノソリューションズ(株)
岩崎通信機(株)
インダストリアルソフト(有)
(株) インタフェース
(株) インテック
インテル(株)
インフォサイエンス(株)
(株) インフォシティ
(株) インプレスIT
(株) ヴァル研究所
(株) うえじま企画
(株) エクサ
(株) エスケーエレクトロニクス
(株) エデュケーショナルネットワーク
(株) エヌジェーケー

エヌ・ディー・アール(株)
エヌ・ティ・ティ・データ・クリエイショ
ン(株)
オークマ(株)
(株) 大塚商会
(株) オーム社
沖ソフトウェア(株)
沖通信システム(株)
沖電気工業(株)
(株) 小野仁
オムロン(株)
オムロンソフトウェア(株)
オリンパスソフトウェアテクノロジー
(株)

【か行】

(独) 科学技術振興機構
(財) 画像情報教育振興協会
(学) 片柳学園日本工学院専門学校
(学) 片柳学園日本工学院八王子
専門学校
関西電力(株)
関電システムソリューションズ(株)
キーウェアソリューションズ(株)
(財) 機械振興協会
キャノン(株)
キャノン(株) 研究推進課
キャノンITソリューションズ(株)
キャノンソフトウェア(株)
(財) 九州先端科学技術研究所
九州電力(株)
共立出版(株)
グーグル(株)
グレースノート(株)
(株) 言語工学研究所
原電情報システム(株)
(株) コア 中四国カンパニー
(株) 構造計画研究所
(株) 高知電子計算センター
(株) 国際電気通信基礎技術研究所
国土館大学情報科学センター
(独) 国立印刷局研究所
国立国会図書館
コニカミノルタテクノロジーセン
ター(株)
(株) コミュニチュア

【さ行】

(株) サイエンスハウス
(株) サイエティア
サクサ(株)
サクシード(株)
三協印刷(株)
(株) 産業開発機構
三美印刷(株)
サン・マイクロシステムズ(株)
三洋電機(株)
三洋電機(株) デジタル技術研究所
(株) シーエーシー
(株) ジーダット

(株) シーフォーテクノロジー
(有) ジェイ・サイバー
(株) ジェイアールシステム・エンジ
ニアリング
(株) ジェイアール東日本情報シス
テム
ジェイマジック(株)
システム・オートメーション(株)
システム開発(株)
(株) システムラボ
シャープ(株)
(株) ジャステック
(株) ジャストシステム
(株) ジャパンテクニカルソフトウェア
(財) 情報科学国際交流財団
(社) 情報サービス産業協会
(財) 情報処理相互運用技術協会
(独) 情報通信研究機構
(独) 新エネルギー・産業技術総
合開発機構
(株) 新社会システム総合研究所
新日鉄ソリューションズ(株)
(株) 数理計画
(株) スクウェイブ
住商情報システム(株)
住友電気工業(株)
(株) セイノー情報サービス
セコム(株)
(株) 全農ビジネスサポート
(株) 創夢
ソニー(株)
ソニーグローバルソリューショ
ンズ(株)
(株) ソフトウェアコントロール
(財) ソフトウェア情報センターソフ
トウェア特許情報センター
ソフトバンククリエイティブ(株)
(財) ソフトピアジャパン
ソラン(株)

【た行】

(株) 第一コンピュータリソース
大和ハウス工業(株)
拓殖大学
中国電力(株)
(株) 中電シーティーアイ
中部電力(株)
中部日本電気ソフトウェア(株)
通研電気工業(株)
(株) ディーアンドエムホールディン
グス
ティーディーシーソフトウェアエン
ジニアリング(株)
テービーテック(株)
テクノブレン(株)
デジタルプロセス(株)
鉄道情報システム(株)
(財) 鉄道総合技術研究所
(株) テブコシステムズ
(株) 電産
(社) 電子情報技術産業協会

(株) デンソー
(株) デンソー IC 技術1部
(株) デンソーアイティーラボラトリ
(株) デンソークリエイト
(財) 電力中央研究所
東海ソフト(株)
東海旅客鉄道(株)
東京電力(株)
東光(株)
(株) 東芝
東芝システムテクノロジー(株)
東芝情報システム(株)
東芝ソリューション(株)
東芝テック(株)
東芝プロセスソフトウェア(株)
東芝マイクロエレクトロニクス(株)
東芝メディカルシステムズ(株)
東邦ガス情報システム(株)
東北電力(株)
東北電力(株) 研究開発センター
(株) 東和システム
ドコモ・テクノロジー(株)
特許庁
凸版印刷(株)
トッパン・フォームズ(株)
(株) トヨタコミュニケーションシス
テム
トヨタ自動車(株)
(株) 豊田中央研究所

【な行】

名古屋学院大学
(株) ニコン
(株) ニコンシステム
ニッセイ情報テクノロジー(株)
日鉄日立システムエンジニアリング
(株)
日本アルゴリズム(株)
日本コムシス(株)
日本事務器(株)
(株) 日本情報システムサービス
日本電気(株)
(株) 日本電気特許技術情報セン
ター
日本アイ・ピー・エム(株)
(社) 日本化学会
(株) 日本科学技術研修所
日本銀行
日本原子力研究開発機構
日本航空電子工業(株)
日本証券テクノロジー(株)
日本信号(株)
日本エレクトロニクス(株)
日本電子計算(株)
日本電信電話(株)
(株) 日本トラフィックコンピュー
ターセンター
日本ビクター(株)
日本ヒューレット・パッカード(株)
ヒューレット・パッカード日本研
究所

(財)日本品質保証機構
日本放送協会 放送技術研究所
日本無線(株)
日本ユニシス(株)
(株)日本旅行
(株)ニューズウォッチ
(株)ニューメディア総研
(株)野村総合研究所

【は行】

パイオニア(株)
パイオニア(株)システム研究センター
萩原電気(株)
(株)博報堂DYホールディングス
パナソニック コミュニケーションズ(株)
パナソニック モバイルコミュニケーションズ(株)
パナソニック MCE (株)
(株)ビーコン インフォメーションテクノロジー
(株)ビクセラ
日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア(株)
(株)日立アドバンストデジタル
(株)日立エイチ・ピー・エム
(株)日立国際電気
(株)日立システムアンドサービス
(株)日立システムアンドサービス

中部支社
(株)日立情報システムズ
(株)日立情報制御ソリューションズ
(株)日立製作所 システム開発研究所
(株)日立製作所 情報・通信グループ
(株)日立製作所 東北支社
(株)日立製作所 中央研究所
(株)日立製作所 中国支社
日立ソフトウェアエンジニアリング(株)
(株)日立中国ソリューションズ
(株)日立テクニカルコミュニケーションズ
(株)日立東日本ソリューションズ
(株)ファースト
(株)フォーカスシステムズ
(株)フジキカイ 名古屋工場
富士通(株)
富士通アクセス(株)
(株)富士通エフサス
富士通関西中部ネットテック(株)
(株)富士通九州システムエンジニアリング
(株)富士通南九州システムエンジニアリング
(株)富士通長野システムエンジニアリング
(株)富士通四国システムズ
(株)富士通中国システムズ
(株)富士通中部システムズ

(株)富士通東北システムズ
(株)富士通北陸システムズ
(株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
富士通テン(株)
フジテック(株)
船井電機(株)
フューチャーアーキテクト(株)
ブラザー工業(株)
(株)ブリヂストン
(株)ブリッジ
古野電気(株)
プロソフトトレーニングジャパン(株)
北陸電力(株)
北陸日本電気ソフトウェア(株)
(株)堀場製作所

【ま行】

マイクロソフト(株)
松下電器産業(株) コーポレートR&D 戦略室
松下電器産業(株) パナソニック AVC ネットワークス社
松下電工(株)
マツダ(株)
三井情報(株)
三菱スペース・ソフトウェア(株)
三菱電機(株)

三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
三菱電機コントロールソフトウェア(株)
三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)
三菱プレジジョン(株)
武蔵野美術大学
(株)メイテツコム
(株)メディアフラッツ
森長電子(株)

【や行】

ヤフー(株)
ヤフー(株) Yahoo!JAPAN 研究所
ヤマトシステム開発(株)
ヤマハ(株)
横河電機(株)

【ら行】

楽天(株)
リードエグジビションジャパン(株)
(株)リコー
(株)リコー ソフトウェア研究所
(株)リンクレア
(株)ロックウェーブ

協力協定締結学会との正会員会費割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・割引率（当会の正会員対象）

ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/03somu/kanrenlink/kanrendantai/kanren/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本学会会費割引率

正会員費 10%（協力協定学会の正会員対象）

【申請方法】会費割引を希望する正会員の方（これから入会する方を除く）は、その旨を協力協定締結各学会正会員の会員証コピーを添付（Fax 可）のうえ、下記照会先に申請してください。各学会への照会後に適用となります。割引適用は1学会分といたします。

※これから入会を希望する方は、入会申込書（正会員）(https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご参照ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375